

ROMMONに関する問題の4000シリーズISRのトラブルシューティング

内容

[概要](#)

[背景説明](#)

[問題](#)

[解決方法](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、誤ったプラットフォームのCisco IOS®-XEリリースで設定された場合に、ROMMONからCisco 4000シリーズISRを回復する方法について説明します。

背景説明

このドキュメントでは、誤ったプラットフォームのCisco IOS XEリリースで設定された場合に、Cisco 4000シリーズISR（サービス統合型ルータ）をROMMONまたは無限ブートループからトラブルシューティングして回復する方法の手順を追ったプロセスについて説明します。Cisco 4000シリーズISRがROMMONまたは連続ブートループに陥ることがあります。

問題

Cisco 4400とCisco 4300シリーズルータのCisco IOS XEイメージは、Cisco 4400にCisco 4300用のCisco IOS XEリリースを設定した場合、またはその逆の場合に、非常によく似ています。ルータは完全にはブートアップせず、ROMMONでスタックします。

これは、Cisco 4300のCisco IOS-XEリリースで設定されたCisco 4400です。

```
Cisco ISR4431/K9 (1RU) processor with 1665895K/6147K bytes of memory.  
Processor board ID XXXXXXXXXX  
4 Gigabit Ethernet interfaces  
32768K バイトの不揮発性構成メモリ。  
4194304K bytes of physical memory.  
7057407K bytes of flash memory at bootflash:.  
4013055K bytes of USB flash at usb1
```

```
ROUTER#conf t  
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.  
ROUTER(config)#boot system flash bootflash:isr4300-universalk9.3.13.01.S.154-3.S1-ext.SPA.bin  
ROUTER(config)#end  
ROUTER#  
ROUTER#show running-config | include boot
```

```
boot-start-marker
boot system flash bootflash:isr4300-universalk9.03.13.01.S.154-3.S1-ext.SPA.bin
boot-end-marker
```

このルータをリロードすると、ルータがROMMONモードでスタックし、起動時に次のメッセージが表示されます。

```
%IOSXEBOOT-1-INVALID_IMAGE: (RP/0): Booting an invalid ISR4300 image - Reloading system.
```

正しいCisco IOS XEイメージでルータを起動する方法が機能しません。

1. USBフラッシュを使用してルータの起動を試みます。

```
rommon 1 > boot usb1:isr4400-universalk9.03.15.01.S.155-2.S1-std.SPA.bin
```

再起動する前にリセットしてください：

```
rommon 2 > reset
```

2. startup-configを無視し、スタートアップコンフィギュレーションなしでルータを起動します。

```
rommon 3 > confreg 0x2142
```

新しい設定を有効にするには、リセットまたは電源のオフ/オンを行う必要があります。

```
rommon 4 > boot usb1:isr4400-universalk9.03.15.01.S.155-2.S1-std.SPA.bin
```

ブートする前にリセットする必要があります。

```
rommon 5 > reset
```

3.従来のブートフラッシュファイルシステムからルータの起動を試みます。

```
rommon 6 > boot bootflash:isr4400-universalk9.03.15.01.S.155-2.S1-std.SPA.bin
```

続行する前にリセット：

```
rommon 7 > reset
```

4.内部ブートフラッシュファイルシステムがルータで認識されない場合があります。

```
rommon 8 > dir bootflash:
```

続行する前にリセット：

```
rommon 9 > reset
```

解決方法

次に、この無限ブートループの問題を回復するための正しいプロセスを示します。

1.ブート時にブレイクシーケンスを使用してルータをROMMONモードに切り替えます。

```
rommon 1 >
```

2. config-register値を0x0に変更して、startup configで設定されているブート変数を見捨てます。

```
rommon 1 > confreg 0x0
```

You must reset or power cycle for new config to take effect:

```
rommon 2 > reset
```

3.これにより、ルータは再びROMMONモードになります。次に、config-registerの値を0x2102に変更します。

```
rommon 3 > confreg 0x2102
```

4.次に、ROMMONから正しいブート変数を設定する必要があります。

```
rommon 4 > boot bootflash:isr4400-universalk9.03.15.01.S.155-2.S1-std.SPA.bin
```

ルータが起動したら、誤ったブート変数を削除し、正しいCisco IOS-XEリリースを設定できます。
。

```
ROUTER(config)#no boot system flash bootflash:isr4300-universalk9.03.13.01.S.154-3.S1-ext.SPA.bin
```

```
ROUTER(config)#boot system flash bootflash:isr4400-universalk9.03.15.01.S.155-2.S1-std.SPA.bin
```

5.変更を保存します。

```
ROUTER#write memory
```

Cisco 4000シリーズサービス統合型ルータのパスワード回復ガイドについては、『[Cisco 4000シリーズサービス統合型ルータのトラブルシューティングガイド](#)』を参照してください。

関連情報

- [シスコテクニカルサポートおよびダウンロード](#)

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。